

編集後記

この度、初めて歯学部ニュースの編集委員を務めさせて頂きました。まず、お忙しい中、原稿執筆にご協力頂きました皆様方に、この場を借りて深く感謝を申し上げます。これまで読者側であった自分が編集に携わることができ、非常に感慨深い気持ちです。歯学部ニュースを読む度に、新潟大学歯学部のアクティブさを感じます。歯学部学内の方のみならず、学外の方にも歯学部の活動を広く発信できる本誌に、いつかまた携わることができれば幸いです。今後も歯学部ニュースの発刊を楽しみにしております。

う蝕学分野 井田 貴子

まず、歯学部ニュース144号発刊に際しまして、原稿作成にご協力いただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。歯学部ニュースの編集に携わり、コロナ禍で制限されていた様々な活動が、戻りつつあるなと実感いたしました。コロナ感染が落ち着いても、世界情勢は不安定な状況ですが、歯学部に関係する皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。この度は誠にありがとうございます。

顎顔面口腔外科分野 齋藤 タ子

この度は皆さんお忙しい中、原稿を執筆していただき感謝申し上げます。執筆は何度かしたことがあります。編集委員は今回が初めての経験となります。私は主に学生の皆さんの原稿を担当しましたが、関係各所の皆様が楽しみにしている歯学部ニュースの編集ということで、公になる前の大事な原稿をお預かりし確認するということは、楽しみ半分、重責半分という複雑な感覚でした。無事発刊する運びとなり、ほっと胸をなでおろした次第です。この経験から今後の歯学部ニュースを読む楽しみが一層増しました。改めて御礼申し上げます。

歯科総合診療科 佐藤 拓実

17年以上目にしてきた歯学部ニュースですが編集委員を務めさせていただくことで、どのように歯学部ニュースが作られてゆくのかわることができました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。学生の皆さんの原稿を多く担当したのですが、コロナ禍で失われていた活動が戻りつつあることを知ることができてよかったです。この度の原稿の執筆にご協力いただいた皆様に感謝いたします。

組織再建口腔外科学分野 須田 大亮

この度、歯学部ニュース144号の編集長を務めさせていただきました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、日常を取り戻しつつある中で、多くの皆様に書いていただいた原稿は、人と直接関われる喜びに溢れていました。中でも、対面で再開された各学会の受賞報告は例年の2倍の数となり、学内の皆様のご活躍を報告できたことを大変嬉しく思います。最後に、執筆を快諾していただいた先生方、職員の方々、学生の皆さん、編集作業に携わられた委員の方々に厚く御礼申し上げます。

口腔解剖学分野 川崎 真依子